

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
-----	-----------------------

所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興に資するとともに、本市におけるコンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。</p>

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。 また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。</p> <p>※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。</p>
--

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28 実績	H29 目標 実績		H30 目標	H31 目標	H32 目標	H33 目標
3施設の来場者数	91万人	82万人	107万人	82万人	30年度水準を維持		

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）			
団体に おける 評価	<p>学会・大会の誘致に積極的に取り組み、日本政府観光局発表の「2016年国際会議開催件数」では、北九州市は初めて10位に入った。北九州国際会議場の利用件数は目標を下回ったものの、全体的には目標・昨年度実績を上回っており、3施設の来場者数が100万人を超えるなど好調に推移している。主催事業においても国、県、市、大学、関係団体、研究機関と連携し、効果的な事業促進に努めた。こうした取り組みを継続することで、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献した。</p>	市の評価	<p>3施設の来場者数は、目標値を上回っており、小倉駅新幹線口のにぎわいづくりに大きく貢献している。また、ローカルホスト等とのネットワークを活かして、地元のMICE関係者と連携し、積極的に誘致活動に取り組んだことにより、国際会議開催件数は、年々増加している。本市が国際会議都市として高い評価を得たことに大きく寄与している。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		<p>協会主催事業は、北九州市の新成長戦略や国・県の産業政策の動向を踏まえ、既存事業の充実、新事業の開発等に取り組む。また、学会・大会などの誘致はキーパーソンへの積極的な営業活動等に取り組む。さらに施設利用者についても過去の利用者の復活など営業強化に取り組む。以上のような改善に取り組むことで、さらに貸館利用件数・稼働率・来場者数の増加を図り、北九州市のにぎわい、活力あるまちづくりに貢献する。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
<p>団体の機能強化、拡充を図り、北九州市のMICEおよび観光振興をより一層推進するため、平成29年4月に西日本産業貿易コンベンション協会と北九州市観光協会が合併し、北九州観光コンベンション協会が発足した。</p>	